



# 山中魂

～正義 勇気 土根性～

新潟市立山の下中学校たより

令和6年2月8日発行

第22号 校長 武藤 雅雄

## 山中の歴史と伝統を受け継ぐ（校長講話抜粋）2月6日（火）全校朝会

**はじめに** 3学年がそろそろ最後の全校朝会でした。初めに能登半島地震のその後の様子や、先日行われた生徒総会、いじめ見逃しゼロの取組について触れました。次に、3年生が作成したカウントダウン・カレンダーを紹介しました。2月6日の時点では、卒業式までに登校する日が17日、休日を入れると30日でした。



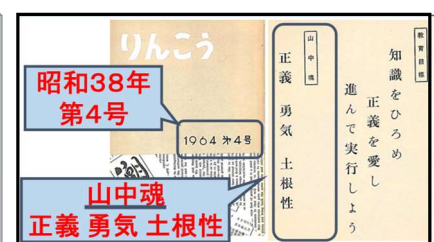
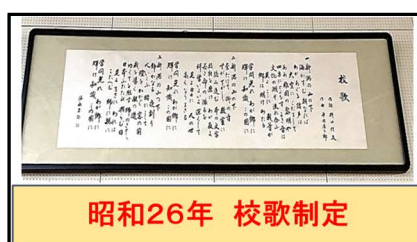
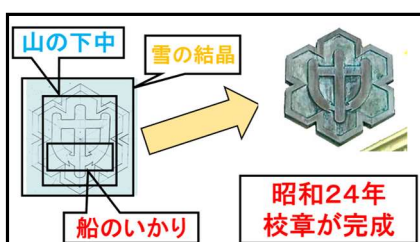
**山の下中学校の歴史と伝統** スライドを交えながら生徒に紹介しました。山中は、昭和23年、今から75年前に創立し、当時の生徒数は652名でした。その後、生徒数が激増して2千人を超え、昭和35年に藤見中に分離しました。さらに、藤見中も生徒数が激増し、下山中に分離しました。3校はきょうだい校と言えます。

山中の歴史を探る
山中は昭和23年創立
生徒数652名(現在374名)
本校 ⇒ 山の下小学校
分校 ⇒ 宮浦中学校

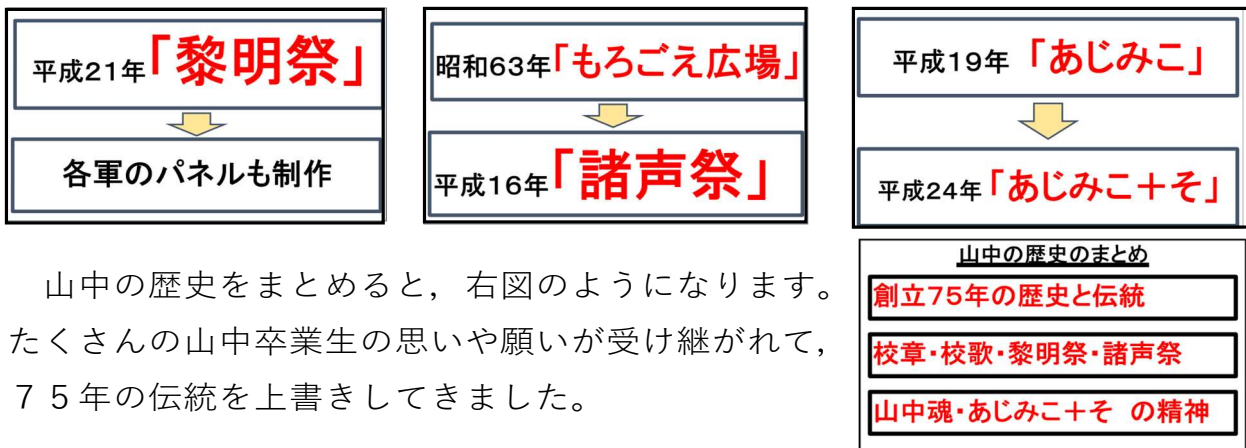
山中の歴史を探る
昭和35年 生徒数 <b>2143名</b>
⇒ 昭和36年4月
山中から分離
⇒ <b>藤見中</b> が誕生

山中の歴史を探る
藤見中の生徒数が激増！
⇒ 平成元年4月
藤見中から一部分離
<b>下山中</b> が誕生

校章は、中央の漢字に「山の下中」が、中の字の下方に「船のいかり」が、外側の六角形に「雪の結晶」が表されています。昭和24年に完成しました。校歌は、昭和26年に制定されました。山中魂「正義 勇気 土根性」は、昭和38年の生徒会誌「りんこう」で発見しました。当時、生活委員長だった尾張英治さんが作った作品が掲載されています。その後60年間、脈々と受け継がれてきました。



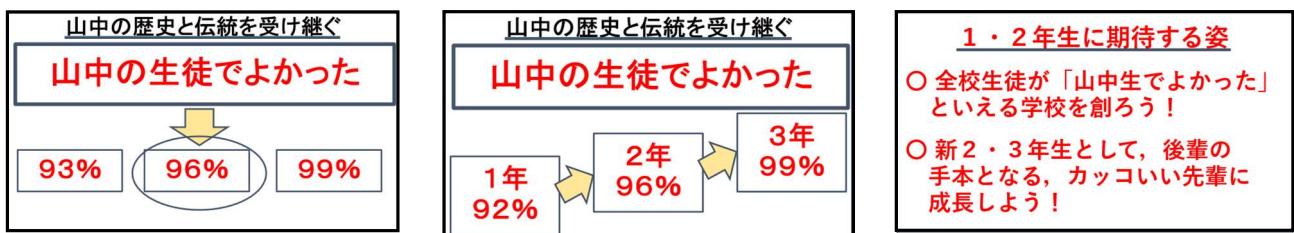
また、体育祭から**黎明祭**に、合唱コンクールから**諸声祭**に、それぞれ名称が変わり、生徒会の合言葉である「**あじみこ+そ**」は「あじみこ」から発展しました。



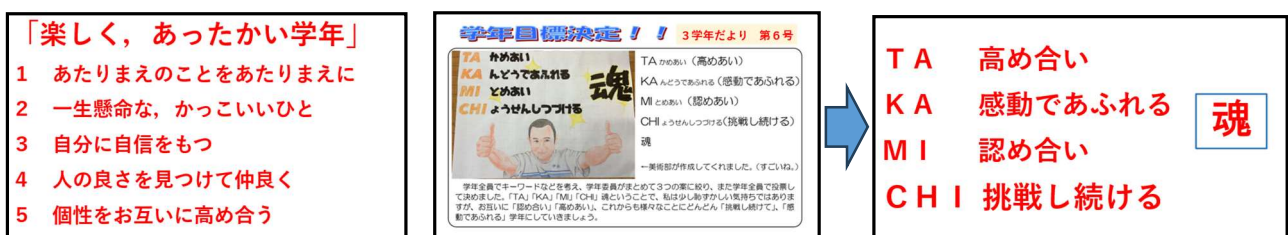
山中の歴史をまとめると、右図のようになります。たくさんの山中卒業生の思いや願いが受け継がれて、75年の伝統を上書きしてきました。

### 山中の歴史と伝統を引き継ぐために

学校生活アンケートで、「山中の生徒でよかった」と回答した生徒は全校では96%です。学年が上がるにつれて肯定的な回答が増えています。このことから、**1・2年生**には、全校生徒が「山中の生徒でよかった」といえる学校を創ってほしいです。また、**後輩の手本となる、カッコいい先輩に成長**することを願っています。



**3年生**には、学年だよりの第1号で、先生方から「**楽しく、あったかい学年**」に成長してほしいというメッセージが送られていました。また、学年だより第6号で紹介された3年生の学年目標「**TA K A M I C H I 魂**」は達成できたでしょうか。



### 3月4日の卒業証書授与式

4年間、卒業式に在校生が参加することができませんでした。3年生にとっては、全校で歌う最初で最後の校歌が卒業式当日です。山中75年間の歴史と伝統に感謝の心と誇りを持ち、全校生徒が心を一つに最高の校歌で、素晴らしい卒業式を創り上げましょう。

